

《 注意報・警報・情報等の種類並びに発表の基準 》 資料 3.4.1 (1)

注意報：災害が起こる恐れのある場合、注意を喚起するために行う。
 警報：重大な被害が起こる恐れがある場合に、警戒を喚起するために行う。

種 類	発表の基準	該当する条件	
気 象 関 係 注 意 報	風雪注意報	風雪によって災害が起こる恐れがあると予想される場合。	降雪を伴い平均風速が12m/s以上になると予想される場合。
	強風注意報	強風によって災害が起こる恐れがあると予想される場合。	平均風速が12m/s以上になると予想される場合。
	大雨注意報	大雨によって災害が起こる恐れがあると予想される場合。	平坦地 : 3時間雨量が 70mm 平坦地以外 : 1時間雨量が 60mm 土壌雨量指数基準が 98 以上になると予想される場合。
	大雪注意報	大雪によって災害が起こる恐れがあると予想される場合。	平坦地 : 24時間降雪が深さ5cm 山地 : 24時間降雪が深さ10cm 以上になると予想される場合。
	なだれ注意報	なだれが発生して災害が起こる恐れがあると予想される場合。	積雪の深さが100cm以上で 1. 気温が3℃以上の好天 2. 低気圧等による降雨 3. 降雪の深さが30cm以上のいずれかが予想される場合。
	着氷着雪注意報	着氷(雪)が著しく、通信線や送電線等に災害が起こる恐れがあると予想される場合。	大雪注意報・警報の条件下で、気温が-2℃~+2℃、湿度が90%以上になると予想される場合。
	濃霧注意報	濃霧によって災害が起こる恐れがあると予想される場合。	視程が陸上で100mm以下になると予想される場合。
	雷注意報	落雷等によって災害が起こると予想される場合。	
	乾燥注意報	空気が乾燥し、火災の危険が大きいと予想される場合。	最小湿度40%以下 実効湿度60%以下 になると予想される場合。
	霜注意報	早霜、晩霜等によって農作物に著しい災害が起こる恐れがあると予想される場合。	11月20日までの早霜 および 3月15日以降の晩霜で 最低気温が+3℃以下になると予想される場合。
低温注意報	低温によって農作物等に著しい災害が起こる恐れがあると予想される場合。	冬期：最低気温が沿岸部-4℃以下、又は内陸部で-7℃以下になると予想される場合。 夏期：日平均気温が平年より4℃以上低い日が3日続いた後、さらに2日以上続くと予想される場合。	

《 注意報・警報・情報等の種類並びに発表の基準 》 資料 3.4.1 (2)

種 類		発表の基準	該当する条件
注 意 報	洪水注意報	洪水によって災害が起こる恐れがあると予想される場合。	平地 : 3時間雨量が 70mm 平地以外 : 1時間雨量が 60mm 流域雨量指数: 宝満川流域で 10以上になると予想される場合。
警 報	気 象 関 係	暴風警報	暴風等によって重大な災害が起こる恐れがあると予想される場合。 陸上 : 平均風速 20m/s 玄界灘 : 平均風速 20m/s 沖ノ鳥島周辺 : 平均風速 20m/s以上になると予想される場合
		暴風雪警報	暴風雪によって重大な被害が起こる恐れがあると予想される場合。 降雪を伴い平均風速が20m/s以上になると予想される場合。
		大雨警報	大雨によって重大な災害が起こる恐れがあると予想される場合。 平地 : 3時間雨量が 110mm 平地以外 : 1時間雨量が 90mm 土壌雨量指数基準が 141以上になると予想される場合。
		大雪警報	大雪によって重大な災害が起こる恐れがあると予想される場合。 平地 : 24時間降雪が深さ20cm 山地 : 24時間降雪が深さ50cm以上になると予想される場合。
	洪水警報	洪水によって重大な災害が起こる恐れがあると予想される場合。 平地 : 3時間雨量が 110mm 平地以外 : 1時間雨量が 90mm 流域雨量指数: 宝満川流域で 20以上になると予想される場合。	

平成22年05月27日現在 福岡管区気象台

《 気象・火災の情報、注意報及び警報 》 資料 3.4.2

種類	発表の基準	該当する具体的条件
気象情報	<p>気象業務法上に基づいて気象官署気象等の予報に係りのある台風その他の異常気象等についての情報を一般及び関係機関に対して具体的に速やかに発表する。福岡管区気象台は、九州北部地方を対象とする九州北部地方情報及び福岡県を対象とする福岡県気象情報を発表するものとする。</p>	<p>ア. 注意報・警報を発表する時期尚早の段階で将来注意報・警報に相当する気象現象が起こることを警報するアラーム的の情報。</p> <p>イ. すでに発表した注意報・警報文では十分に表現できなかった気象事項を補完する補完的の情報。</p> <p>ウ. 大雨、洪水警報が発表されているとき、記録的な1時間雨量※（70mm以上）を観測した場合に、直ちに「福岡県記録的短時間大雨情報」を必ず「」をつけて（定型文）発表し、さらに警戒を厳重にするよう呼びかける特別な大雨情報。</p> <p>エ. この値については注意報・警報の基準と同じに、検討と見直しが行われ、必要な場合には変更される。</p>
火災気象情報	<p>消防法に基づいて福岡管区気象台長が気象の状況が火災の予防上危険であると認めるときに、その状況を直ちに知事に通報するものである。知事はこの通報を受けたときは、直ちにこれを市町村長に通報しなければならない。</p>	<p>ア. 実効湿度が60%以下でかつ最小湿度が40%以下となり、最大風速7m/sを越える見込みのとき。</p> <p>イ. 平均風速10m以上の風が1時間以上連続して吹く見込みのとき。（降雨、降雪中は通報しないこともある。）</p>
火災警報	<p>消防法に基づいて市町村長が火災気象通報を受けたとき又は気象の状況が火災の予防上危険であると認めるとき、一般に対して警報を喚起するために行う。</p>	
地震及び津波に関する情報	<p>震央からの最大有感距離がおおむね100km以上の地震・被害又は津波が発生したと推定される地震・局地的に続いて発生する小地震等が発生し、福岡管区気象台が一般及び関係機関に対して速やかに発表するもので、ある。</p>	<p>ア. 地震現象及びこれに密接に関連する現象（津波現象をのぞく）の観測成果及び状況を内容とするもの。</p> <p>イ. 津波現象及びこれらに密接に関連する現象の観測成果及び状況を内容とするもの。</p>

《 防災気象情報（注意報・警報・情報）伝達系統図 》 資料 3.4.3

